

小児外科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

外鼠径ヘルニア、腸重積症などのメジャーな小児の外科的疾患の基本的な対応を学ぶことができる。ヒルシュスプルング病、鎖肛、胆道閉鎖症など成人の外科ではみることのない疾患を経験することができる。

【専門研修に向けて(希望者には！)】

県内で唯一の小児外科認定施設であり小児外科の専門医はもちろんのこと、外科専門医取得に必要な小児の手術が経験できる。

一般目標

小児外科疾患の診療に必要な基本的な知識、技術の習得とともに、患者、家族に対し適切かつ誠実な対応のできる医師を目指す。

行動目標

1. 小児外科疾患の診断に必要な問診及び診察を行うことができる
2. 小児外科疾患の診断計画を立てることができる
3. 小児外科疾患の基本的検査の選択、実行及び結果の解釈ができる(検査に必要な鎮静、麻酔管理ができる)
4. 小児外科における基本的治療法を選択し、実行できる
5. 小児外科における主な手術術式を理解し手術に参加できる
6. 小児外科における基本的手術を術者として実行できる
7. 症例カンファレンス、小児科合同カンファレンスにおいて症例の呈示者となり議論に参加できる

チェックリスト

知識：

小児外科における基本的疾患の病態を把握する

*主な対象疾患

新生児外科疾患(先天性横隔膜ヘルニア、先天性食道閉鎖症、先天性腸閉鎖・狭窄症、消化管穿孔、ヒルシュスプルング病、直腸肛門奇形、腹壁異常、肥厚性幽門狭窄症など)

胆道疾患(先天性胆道拡張症、胆道閉鎖症)、悪性固形腫瘍、良性腫瘍
日常的疾患(腸重積症、虫垂炎、ソケイヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアなど)

泌尿器疾患(水腎症、膀胱尿管逆流など)など

技能：

1. 乳幼児の血管確保、採血、採尿ができる
2. 胃管、膀胱留置カテーテルなどの挿入と管理ができる
3. 創処置、ドレーンなどの管理ができる
4. 胃瘻、腸瘻、腎瘻などの管理ができる
5. 基本的疾患の術前術後の呼吸、循環、体温、栄養管理ができる
6. 基本的疾患の手術治療の介助ができる
7. 基本的な小手術（外ソケイヘルニア根治術，虫垂切除，粘膜外幽門筋切開術など）が執刀できる

研修方法

1. 入院患者の主治医として担当指導教官とともに診療（検査，術前，術後管理，手術など）に従事する
2. 症例検カンファレンスにて症例の問題点、治療方針を提示する

指導医

水野 大、森井真也子、渡部 亮

小児外科ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~syouge/>

小児外科についてのご質問は、

渡部 亮

e-mail ; ryowata@gipc.akita-u.ac.jp

TEL : 018-884-6143 FAX : 018-836-0567

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:15	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
9:00	手術	外来・病棟検査	手術	外来・病棟検査	外来・病棟検査
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	手術	外来・病棟検査	手術	外来・病棟検査	外来・病棟検査
16:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
17:00	抄読会	小児外科・小児科合同			
1800	症例検討会	症例カンファレンス			

*病棟回診 土，日，祭日は9時～，16時～の2回